

『他社ビデオ会議システムと比較し「安くなって、軽くなった」 ポータブル性を活かし、グループ企業間で共同利用』

実際に使っているお客様に直撃インタビューしました



株式会社 福田組 様

■導入先

- お客様会社名称 株式会社 福田組様
- お客様の業種 建設業 / 従業員 724名 (平成24年4月1日現在)
- お客様の主な業務内容

1. 建設工事の請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務/2. 不動産の売買、交換、賃貸およびその仲介ならびに管理/3. 住宅の建設および販売ならびに土地の造成および販売/4. 地域開発、都市開発、環境整備等の事業ならびにこれらに関する請負、企画、設計、監理およびコンサルティング業務/5. 宿泊施設、スポーツ施設、レクリエーション施設、健康・医療施設等の保有、賃貸および経営/6. 建設用の資材、機器および機械装置の加工、販売および賃貸/7. 前各号に付帯する一切の事業

■導入商品

- 機器構成 P3000 × 13台
- ご導入拠点 新潟本社・東京本社/本店・新潟本店・中越支店・東北支店・名古屋支店・大阪支店・九州支店
- 料金体系 シングルフラット9
- 導入形態 他社ビデオ会議システム入替え

導入の背景

他社ビデオ会議システムを利用していましたが、複数拠点に接続すると、会議システムが中断されるという不具合が発生していました。保守料金の負担も大きかったため、安価で安定したシステムを検討していました。

導入前の課題

他社ビデオ会議システムの利用中の不具合発生に備えて、サブで別の機器を複数台用意していましたが、大きい機材なので移動させるのも大変で事前準備に時間がかかっていたことが大きな課題でした。

P3000をこのように利用しています

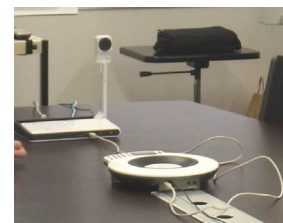
ポータブル性を活かして、福田組だけでなく、グループ会社全体で活用しています。活用内容は大きく3パターンあり、①グループ会社間での諸連絡会、勉強会。②役員会等重要会議。③部門別定例会議。

具体的には、取締役会、経営会議、土木・建築・開発部会、社内年金セミナー、グループ管理担当者研修で利用しています。P3000の利用頻度は、月1回や週1回開催など各会議の頻度により異なりますが、各部門で積極的に活用しています。

また、大会場でP3000とマイクスピーカーを2セット用意し、パワーポイントによるグループ各社のプレゼンを受ける、全グループ会社社長会議を実施したこともあります。



他社ビデオ会議システムと比較して、画質も良くなりました。



普段は10人以上いる経営会議で利用するため、マイクスピーカーを接続して利用しています。

導入後の効果

「これまでのグループ管理部系研修は、参加者数の制約上、既存のビデオ会議システムが利用できる会場でおこなうことができず、新潟でしか実施できませんでした。P3000を利用することで、インターネット回線があれば他会場とつながることができるようになり、新潟-東京間をつないで東京会場でも参加できるようになりました。

また、外部講師をビデオ会議システムがつながれた会場へ呼び、全国の拠点と繋げセミナーを実施できるので、情報の共有化やスピードアップが図れています。

PC画面共有機能を利用することで、資料を配布することがなくなりペーパーレス化による紙の削減もできています。



操作も簡単なので、会議開始もスムーズにできます。

お客様の声・今後の展望



他社ビデオ会議システムからP3000になって、一言で言うと「安くなって、軽くなった」です。

これまでのビデオ会議システムの維持費用と比較して、経費が安くなりました。

さらに、BCP時の安否確認ツールとしても期待しています。

経営企画部
小幡一生 経営管理室長様



コミュニケーションが密にできるので、本社でないと情報が無い、ということはありません。

今後は、建設現場での利用も考えております。また、海外拠点のタイの子会社とつながりたい要望もあります。

さらに、ポータブル性があるので、持ち運んで、グループ会社で機器を共有し利用できるのが良いです。

経営企画部 樋口真一
グループ経営支援室長(兼)情報システム室長様 ※海外はサポート対象外です。2012年12月現在